



すなやか

荻田町青少年育成町民会議だより



「おはようの聲が
こだまする秋の朝」



荻田町青少年育成町民会議は、10月12日と26日に110名の委員が、町内各小・中学校の校門付近で、登校する児童生徒に「声かけ運動」をしました。互いに「おはようございます」の挨拶を交わし、委員と子どもたちが交流する爽やかな朝になりました。

町民会議は、地域のみなさんが、地域の子もたちを「見守り」することから「声かけ」へ、そして「ふれあい」、「交流」へと輪が広がっていくことを願っています。

参加した委員は、「とても気持ち良かった、これから街角で会った時も声をかけたい」と話していました。みなさんも「おはよう」「行ってらっしゃい」「お帰り」「危ないよ」「がんばってるね」等、子どもたちに気軽に声をかけてみては如何でしょう。

青少年を明るくのびやかに育てよう

●●●● 菟田町青少年育成町民会議視察研修報告 ●●●●

平成24年11月9日、菟田町青少年育成町民会議は、佐賀県神埼市青少年育成市民会議を訪れ、神埼市における青少年育成の取組みについて、市民会議事務局長から詳しくお話を伺うことができました。神埼市は、平成18年3月に旧神埼町、旧千代田町、旧脊振村が合併し、市制施行された新設の自治体です。人口は32千人余りですが、クリークが作り出す広い平野部を有する自然豊かな地域です。特に、弥生時代の集落跡である「吉野ヶ里遺跡」や紅葉が美しい「九年庵」等、誰もが一度は訪れたことのある有名な観光地を有しています。

神埼市青少年育成市民会議は、平成18年7月に設立され、神埼市長を会長に副会長3名、理事68名、事務局11名で構成されています。理事には、教育、福祉、民生、安全等の青少年に関わる多くの団体の関係者から選出されています。これとは別に10名の常任理事を設けることで、日常の運営の迅速化、円滑化を図っていると思われます。市民会議の運営は、市からの補助金と会費によってまかなわれていますが、会費については全世帯から100円徴収しているということでした。市民会議の年間活動は、5つの重点目標を掲げて行われます。なかでも、菟田町でも参考になるとと思われる、特徴のある3つの活動を以下に紹介します。

1 「地区子育て懇談会の開催」

神埼市内の全ての集落において、全戸を対象に区長を中心に地区内の大人や子どもが参加し、その年の「地区の実践目標」について話し合いが行われます。全戸を対象にしながらも、3割近い参加者があることは、地域で子どもたちを育てていこうとする高い意識の表れだと感じられました。

2 「ふれあいボランティアパスポート活動」

これは、神埼市で行われている様々なボランティア活動に子ども達が参加すると、持参のパスポートに内容と点数が記録されるものです。集められた点数は、「さわやか福祉財団」に提出され、寄付金として発展途上国の教育や医療のために使われます。ボランティア参加は、社会の一員としての自立を促すことに役立っていると考えられます。

3 「中学生サミット会議の開催」

ここでは、神埼市内の中学校生徒会役員が一堂に会して、市内の中学生全員が取組まなければならない目標が話し合われます。その上で、実践・実行して行くために、神埼市では中学校生徒の行動規範として「かせち条約」5つの誓い（礼儀作法、思いやり、文武両道、環境保護、規則厳守）が定められています。かせち条約の「かせち」とは、か=かんざき町、せ=せふり村、ち=ちよだ町の頭文字のことです。

この他、神埼市では、幼稚園児や保育園児を含む全ての児童生徒の家庭に「神埼市子育て5か条」が配布されます。この中では、毎月1回のノーテレビデーが定められ、家庭内による読書が推奨されています。また、「我が家のきまり3か条」を家庭内で定めることも求められています。

最後に、神埼市青少年育成市民会議の活動状況をお聞きして、どのような点が優れているのか、どのような所にねらいがあるのかまとめてみました。それは、①青少年の育成基盤を地域に置いていること、その主体は全ての神埼市民にあること、②全ての青少年は、将来の良き神埼市民であること、そのためには児童生徒に自立を求め、社会の一員としての自覚を持たせること、以上の点が事業実施にあたって、明確に関係者の間で認識されていることだと考えます。

「神埼市青少年育成市民会議」研修を終えて

菟田町青少年育成町民会議 副会長 三角 主計

平成18年3月に神埼町・千代田町・東脊振村の3町村が合併、人口33,000人の地方都市神埼市が誕生、世帯数も10,500世帯位で菟田町より人口も世帯数も少なめな都市ですが、平成18年結成された神埼市青少年育成市民会議の神埼市における青少年育成の取組においては、我が菟田町が見習うべき点が多々ありました。以下何点かあげてみますと、第一に驚くことは全世帯の8割近くの人たちが会費を払って青少年育成事業に協力している事です。また、7月に行われる地区別に各公民館で子どもも含めた全家庭の参加による地区子育て懇談会・年3回行われる市長を交えての中学生サミットなど等…。

子どもの頃からボランティア精神を養うためのふれあいボランティアパスポートの発行、神埼市子育て5ヶ条(オアシス運動の様なもの)合わせて我が家の決まり3ヶ条ときめ細かく取り決めております。

最後になりますが神埼市中学生サミット会議での「かせち条約」かせちは神埼・脊振・千代田の頭文字をとったものです。

かせち条約とは○礼儀作法○文武両道○規則厳守○思いやり○環境保護の5項目ですが、なんと《文武両道》と言う文言が入っていることです。我が菟田町ではとうてい受け入れられない文言と思います。がいかがですか。

思うに佐賀県人には、葉隠れ武士道の精神が脈々と受け継がれているのではと感慨無量でした。

今回の研修を受けてマンネリ化した町民会議を改善発展させるべく、気持ちを新たに!

平成24年度荻田町「家庭の日」オアシス運動コンクール入賞者発表

(敬称略、順不同)

ポスターの部



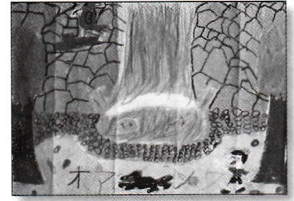
オアシス
看板



白川小6年
山田 光道



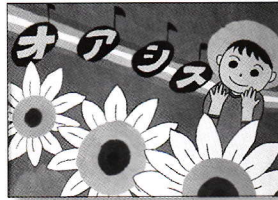
荻田小3年
大谷 壮志



荻田小3年
古門 柚心



白川小6年
入江 真実



白川小6年
安達 優華



白川小6年
末廣 優奈



白川小6年
有吉 唯吹花

作文の部

あいさつって素敵だな

白川小6年 中西 真衣加

あいさつって素敵だと思いませんか。だってあいさつをした
たら、みんながいい気持ちになるからです。

わたしは低学年のころは、知らない人にあいさつするこ
とができませんでした。はずかしくてできなかったのです。
ところがある日、知らない人にあいさつされたのです。びっ
くりしたけど、とてもうれしくなりました。だから、わた
しもがんばってあいさつをするようにしました。すると、
はずかしさもなくなつてあいさつできるようになりました。
た。

小さい頃は、お家の人と言われて何も分からなくてあい
さつをしていただけど、今はちがいます。あいさつをするの
としないのではとてもちがうことがわかりました。

あいさつをすると、知らない人とも友達になれます。ど
んどん友達の輪が広がっていきます。とてもいいことだ
と思いませんか。

そして、あいさつに笑顔がプラスされるともつといいこ
とがあります。それは、笑顔がかえってくるからです。笑顔
をかえされて、悪い気持ちになる人は、いません。たとえ
あいさつされる前にいやな気分になつていても、笑顔であ
いさつされると、自然と笑顔になると思います。あいさつの
大切さが分かります。

でも、あいさつに心が大切です。心のこもっていないあい
さつをしてもらってもうれしくないし、いい気持ちになりま
せん。相手のことを思つてかけるあいさつではないといけ
ないと思います。

白川小学校は一学年一クラスなのでみんな知つていま
す。でも、中学校では他の学校の人もいます。仲良くなれる
かとても心配ですが、「あいさつ」を自分からすること、
友達をたくさんつくつていけたらいいなと思っています。
これからもあいさつを大事にしていきたいです。

他の作文 応募者

荻田小3年

中村 健佑

新津中2年

野川 美咲

新津中3年

末永 菜都美

町民会議主催・荻田中学校教育講演会 (10月16日)

荻田中学校全校生徒を対象に、本校体育館にて、兵庫県立大学准教授の竹内和雄先生による「ちょつと待ってケータイ～携帯について考えよう」の講演を開催しました。竹内先生は最近のインターネットや電子メールに関した様々な事件を取り上げながら、生徒たちに「自分の行動に責任をもつ」「もしトラブルに巻き込まれても一人で抱え込まず、身近な大人に相談する」ことの大切さを伝えて下さいました。

～生徒の感想～

- 私は最近、ケータイを買ったばかりだったのでとても良かったです。これからはメールの内容に気をつけて、正しい使い方ケータイを使いたいです。
- ケータイは持ってないけど、持ったときに自分を守る大切な話が聞けたので良かったです。ケータイを持ったときには今日聞いたことを生かしていきたいと思います。
- 話を聞いて、いつも何気なく使っていたけど、危険だと十分に分かりました。これからも気をつけてケータイを使っていきたいと思います。
- ネットの怖さがあらためてわかった。これからは(サイトが) 本当に安全かどうか確認します。今日の講演は本当にためになりました。



がんばる! 子どもたち

「夏のチャレンジキャンプ2012」

★とき 8月22日～28日・6泊7日 ★ところ 英彦山

川遊び、登山、野外調理、ロープでの遊び、子どもたちの大好きなキャンドルのつどい・・・

いろんな体験の中で友達の助けや支えが一番のプレゼントのようでした。自然の中で水が冷たい・風がこちよい・虫がいた・星がきれい・火がつかないなど満喫していました。自然の厳しさ、やさしさなど体感し学習したことでしょう。



鎖を使っでの下山



レクリエーション



山頂に登ったぞー!

「子どもフェスティバル」

★とき 10月21日(日)

★ところ 中央公民館

多くの子どもたちが遊びに来てくれて、とても嬉しかった! また、愉快的子どもたちも登場してくれました。多くの協力と支援で開催できたこと、とても感謝いたしております。(関連記事P6)

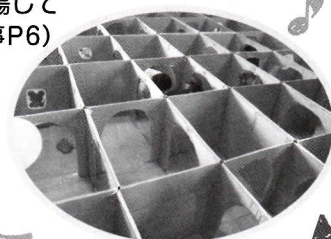
県の子どものつどい同時開催(中央公民館大ホール)

今回は地区の壁新聞に〇〇賞を付けました。

★荻田町町長賞・・・新津子ども会

★福岡県子ども会育成連合会会長賞・・・馬場子ども会

★京築ブロック子ども会育成連絡協議会会長賞・・・提子ども会



バア～バアの一言

No.24

このごろ、子どもは「うるさい」「言う事を聞かない」または「子ども会も衰退」・・・と悲しい言葉が耳に入ってきます。

子どもにも、りっぱな「子どもの権利条約」があるのです。

- | | |
|-------------------------|--|
| 1、子どもの最善の利益(第3条) | 5、親の第一義的養育責任に対する国の援助(第18条) |
| 2、生命への権利、生存、発達の確保(第6条) | 6、結社、集会の自由(第15条) |
| 3、子どもの意見表明権(第12条) | 7、休息と気晴らし、遊びとレクリエーション、文化的芸術的生活への参加権利(第31条) |
| 4、表現、情報の収集及び発信の自由(第13条) | |

など、すごいでしょ...? バア～バア～も勉強したばかりです。

つべこべ言ったり、ダラダラしたり、仲間をもったり、集まったり、群れたり...も権利?(トホホホ...)

しかし子どもは未来へ繋ぐ次世代の子です。また、子どもが居るから希望と夢があり、我々の社会保障も考えることができるのでは...と思います。となると、子どもの存在は重大であります。だからと言って、甘やかしてはいけません。多くの事を体験し、「知、徳、体」の調和がとれ、公共の精神を備え、日本の文化を基盤に国際社会人として飛躍して欲しいと願わずにはられません。ただ、発達段階でのなせることと思いますが、

「キレル」「わからん」「めんどくさい」「フツウ・ビミョウ」...などの言葉に振り回される日々が多いですね。苦労は堪えませんが、子どもはまだ未完成です。大人は、思いを受け止める力が大事ですね。一方的にガミガミ言った後は、子どもの思いも受け止めましょう。子どもの言動には意味があります。大人は、見分ける力を磨き、よき社会人へと導きましょう。

それと、あそぶ仲間と地域社会とのふれあいも大事ですね。皆で未来ある子どもたちと遊び、語り合い、未来を託しましょう...

『がんばれ子どもたち!がんばれママたち!がんばればあ～ばあ～の世代!』



新津中学校 1年生 高齢者との心温まる交流体験

10月31日(水)に、地域の高齢者との心温まる交流体験活動が行われました。規範意識と思いやりの心を育成するために、7つの体験コースを設定して、共同体験をしたり、インタビュータイムを設けて語り合ったりしました。超高齢社会に突入しているにも関わらず、都市化や核家族化の進行により、日常の生活の中で、生徒が高齢者と交流する機会は確実に減少しています。高齢者と触れ合い、交流する機会を設けたことで、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心がはぐくまれ、様々な生きた知識や人間の生き方を学べたと思います。

1. マンデーサロン体験コース

戦争体験者のお話を聞きました。校歌を披露し、唱歌(ふるさと)と一緒に歌ったりしました。



2. 新聞紙で作るエコバッグ体験コース

エコバッグの作り方を教えてもらい、一生懸命作りました。新聞紙の有効活用法を学びました。



3. 松山城址探索活動コース

夢塚と松山城址を探索して、松山城の歴史について説明を受け、歴史を知ることができました。



4. パンジープラザ福祉体験コース

高齢者との対話を通して現在の価値観や心の問題について改めて深く考えさせられました。



5. ティッシュケース作り体験コース

ハンカチでティッシュケースを作りました。試行錯誤を重ねてやっと完成しました。



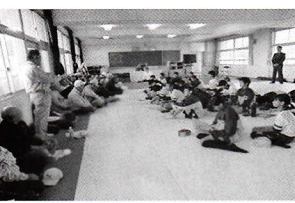
6. 等覚寺応援団そば打ち体験コース

そば粉をこねて、打って、高齢者の方々と一緒に作ったそばをおいしくいただきました。



7. グランドゴルフ・ペタンク体験コース

一緒にグランドゴルフやペタンクをしました。高齢者のみなさんはすごく強かったです！



交流体験を通して、人を思いやることや周りの人たちに感謝することの大切さを感じたことと思います。そして、人や物を大切にすることや今ある当たり前の生活のありがたさを痛感したことでしょう。

ご協力いただいた高齢者の皆さま、地域の皆さま、本当にありがとうございました。

『放課後子どもひろば』紹介③ 『片島子ども広場』

?



ちょっと質問!!

① 日々の活動内容は?

基本的には自由です。ひろばのルールに従いながら、各自の意思でその日の活動内容を決めます。

少人数のひろばですが、みんなが仲良しで、異学年の交流が盛んです。少人数の特性を生かして、日々いろいろなことに取り組んでいます。



② 子どもひろばの参加時間は?

給食がある日は、放課後から17時まで、土曜日は9時から12時まで開催しています。自由参加で、利用時間も自由ですが、平日は17時以降ひろばより下校する子どもたちもいます。子どもたちの姿を見かけたら、地域の皆様の見守りをお願いいたします。



折り紙に夢中!!



宿題など自由勉強



はがき絵に挑戦



ゲストに「地童座」を迎えて



異学年が交わって、みんなでサッカー



ブーメラン飛ばし

毎月第3日曜日は
「家庭の日」



木工教室
(関連記事4P)
「カメラスケッチ」

編集・発行
荏田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
093・434・9838

24年度すこやか編集委員

編集長

松枝 玲子
濱田 勝枝
尾田 弘子
田口 朝子
金丸 晴樹
工藤 正志

尾田 弘子

テレビ番組の話で恐縮ですが、親子でダンス大会に出場するシーンがありました。その中で娘が父親に化粧をしてやる表情や大会の終わりにハイトタッチしたり…。どの親子も、とても輝いていました。

また、違う番組では、10歳の女の子がいつも弟と妹の面倒を見たり、お手伝いをしたりして頑張っているのですが、本心は、単身赴任をしている父親に対して、「パパが帰ってきたときは抱っこして欲しいなあ」といつもいる母親に対して「ママには一週間に一度でいいから一緒に寝て欲しいなあ」とまだまだ甘えたい年頃、とてもいじらしくて可愛いですね。

わたしの孫は、男の子二人ですが、嫌がられるまで、スキンシップをしようと思います。それでみんなで暖かい気持ちで芽生えたら本望です。

いじめ虐待なんのその…。そんな願いを込めて…。

編集後記